



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年7月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 スクロール

コード番号 8005 URL <http://www.scroll.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 堀田 守

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 長田 隆利 TEL 053-464-1114

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	15,754	4.4	866	△26.4	973	△24.1	564	△27.6
24年3月期第1四半期	15,093	△0.1	1,176	△14.1	1,282	△10.5	780	△5.7

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 486百万円 (△39.3%) 24年3月期第1四半期 801百万円 (5.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	17.06	—
24年3月期第1四半期	23.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	34,754	23,011	66.2
24年3月期	34,201	22,690	66.3

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 23,011百万円 24年3月期 22,690百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期（予想）	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	31,000	6.3	1,200	△21.3	1,300	△24.6	750	△24.5	22.67
通期	63,000	5.8	2,400	10.4	2,600	3.1	1,600	177.5	48.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、〔添付資料〕4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	34,320,650株	24年3月期	34,320,650株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	1,231,257株	24年3月期	1,231,121株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	33,089,429株	24年3月期1Q	33,089,792株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、〔添付資料〕3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、平成24年7月27日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東北地方を中心とする復興需要やエコカー補助金等の政策効果などにより景気は緩やかに回復しつつあるものの、欧州の政府債務危機の拡がりや円の高止まり、デフレなどの影響により、全般的に不透明な状況で推移しました。

小売業界におきましては、雇用情勢が依然として厳しく、個人所得の伸び悩み、さらには消費税増税問題等による不安材料を受け、引き続き厳しい経営環境が続いています。

このような情勢下におきまして、当社グループは、前年度に引き続き「成長戦略構築の時代へ」をテーマとした営業戦略体制の構築のため、次の施策に取り組んでおります。

- ① 顧客へのサービスレベルの向上及びインフラコストの削減を目的とした三大事業インフラの構築を行う。
 - i) 東京本店に企画・営業等のフロント機能を集積させ、情報力・マーケティング力・人材力を強化する。
 - ii) 物流効率向上を目的としてロジスティクスセンターの物流インフラを刷新する。
 - iii) 将来のビジネスモデルを支える先進性と時代の変化に対応できる柔軟性を担保し、かつ、システムコストの削減が見込める効率的なシステム基盤を構築する。
- ② 将来の成長性が見込める新事業に対して積極的な投資を行う。
 - i) 化粧品及び健康食品を商材とするEC事業のビジネスモデルを構築する。
 - ii) 拡大するシニアマーケットを対象としたビジネスモデルを確立する。
 - iii) 新しい商材やビジネスモデルの導入に向け積極的なM&Aを行う。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高15,754百万円（前年同四半期比4.4%増）となりました。利益面におきましては、営業利益866百万円（同26.4%減）、経常利益973百万円（同24.1%減）、四半期純利益564百万円（同27.6%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

当第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度まで「通販非アパレル事業」としていた報告セグメントを「通販LF（ライフファッション）事業」及び「通販H&B（ヘルシー&ビューティー）事業」の2区分に変更しております。前年同四半期比は、前第1四半期連結累計期間の数値をセグメント変更後の数値に組替えた上で、比較を行っております。詳細は、「3. 四半期連結財務諸表（5）セグメント情報等」をご覧ください。

なお、セグメント別の売上高は連結相殺消去後、セグメント利益は連結相殺消去前の数値を記載しております。

① 通販アパレル事業

通販アパレル事業におきましては、引き続き「SPA通販」モデルの確立及びメインブランド『RAPTY』の維持拡大に取り組んでまいりました。また、将来の成長性が見込める新事業としてシニア事業の立上げの準備に着手しました。生協販売におきましては、売上の拡大を狙い、売れ行きが好調な商品の継続販売やカタログレイアウトの変更などの施策に積極的に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は6,965百万円（前年同四半期比6.1%増）となり、セグメント利益は658百万円（同20.2%増）となりました。

② 通販インナー事業

通販インナー事業におきましては、インナーや部屋着などの夏向け商材の強化や新ブランドの投入など商品力を高めるとともに、インターネットを活用した販促を行うなど、既存顧客の活性化及び新規顧客の獲得拡大に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は2,303百万円（同0.8%増）となり、セグメント利益は131百万円（同42.7%減）となりました。

③ 通販LF（ライフファッション）事業

通販LF事業におきましては、家具及びインテリア雑貨などの商材の拡充に重点的に取り組んでまいりました。あわせて、有名タレントとのコラボレーション企画や、生活シーンに合わせたコンビニエンスストア・書店販売カタログの発行など、売上機会の拡大に継続的に取り組んでまいりました。また、平成24年5月8日付で、国内及び海外のブランドバッグ・小物等のEC事業を展開する株式会社AXESの全株式を取得し連結子会社といたしました。

以上の結果、売上高は3,337百万円（同1.8%増）となり、セグメント利益は206百万円（同48.5%減）となりました。

④ 通販H&B（ヘルシー&ビューティー）事業

通販H&B事業におきましては、ECモールでのイベントを利用した拡販を行うとともに、ナショナルブランド化粧品専門通販サイト『コスメランド』のオフィシャルサイトでの販売強化や、プライベートブランド化粧品専門通販サイト『豆腐の盛田屋』での積極的な新規顧客の開拓などに取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は1,673百万円（同24.6%増）となり、セグメント利益は23百万円（同51.2%減）となりました。

⑤ ソリューション事業

ソリューション事業におきましては、通販事業者に対する物流代行、『Xspeecs』を中心としたECシステムの提供、ECコンサルをはじめとした販売促進支援などのサポート事業に取り組んでまいりました。また、営業を中心とした業務提携の推進や化粧品及び医薬部外品の製造業（包装・表示・保管）許可・高度管理医療機器管理者の資格を活用した付加価値サービスの提供を行ってまいりました。

以上の結果、売上高は1,413百万円（同5.1%減）となり、セグメント利益は62百万円（同43.8%減）となりました。

⑥ 金融事業

金融事業におきましては、平成21年6月末をもって個品割賦事業における新たな債権の買取りを終了し、現在は保有債権の回収に専念し、当連結会計年度中に有利子負債を完済するよう努めております。なお、利息返還請求による損失に備えるため、損失発生見込額314百万円を引当金計上しております。

以上の結果、営業収益は60百万円（同53.3%減）となり、セグメント利益は9百万円（同91.2%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は34,754百万円となり、前連結会計年度末に比べ552百万円増加しました。これは主に流動資産におけるたな卸資産の増加等によるものであります。

負債は11,742百万円となり、前連結会計年度末に比べ231百万円増加しました。これは主に未払金の増加等によるものであります。

純資産合計は23,011百万円となり、前連結会計年度末に比べ321百万円増加し、自己資本比率は66.2%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年4月27日の平成24年3月期決算短信で公表いたしました平成25年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,747	1,706
売掛金	12,684	12,869
たな卸資産	4,093	4,966
その他	3,066	2,727
貸倒引当金	△694	△667
流動資産合計	20,898	21,602
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,001	4,917
土地	4,711	4,711
その他(純額)	808	794
有形固定資産合計	10,522	10,423
無形固定資産		
投資その他の資産	569	557
その他	2,283	2,240
貸倒引当金	△71	△70
投資その他の資産合計	2,211	2,170
固定資産合計	13,303	13,151
資産合計	34,201	34,754
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,481	2,639
短期借入金	1,149	1,104
未払金	4,844	5,503
未払法人税等	711	321
引当金	322	201
その他	852	871
流動負債合計	10,362	10,642
固定負債		
退職給付引当金	476	493
その他の引当金	297	322
その他	374	283
固定負債合計	1,148	1,100
負債合計	11,511	11,742

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,812	5,812
資本剰余金	7,222	7,222
利益剰余金	9,878	10,277
自己株式	△697	△697
株主資本合計	22,214	22,613
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	408	372
繰延ヘッジ損益	65	24
為替換算調整勘定	0	0
その他の包括利益累計額合計	475	397
純資産合計	22,690	23,011
負債純資産合計	34,201	34,754

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	15,093	15,754
売上原価	8,858	9,190
売上総利益	6,234	6,564
販売費及び一般管理費	5,057	5,697
営業利益	1,176	866
営業外収益		
受取利息	8	6
受取配当金	15	17
不動産賃貸料	19	19
為替差益	17	29
貸倒引当金戻入額	43	5
その他	20	37
営業外収益合計	123	115
営業外費用		
支払利息	11	1
不動産賃貸費用	4	4
その他	0	2
営業外費用合計	17	8
経常利益	1,282	973
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
投資有価証券評価損	3	0
関係会社株式売却損	—	17
その他	1	0
特別損失合計	4	18
税金等調整前四半期純利益	1,278	955
法人税、住民税及び事業税	491	401
法人税等調整額	4	△11
法人税等合計	495	390
少数株主損益調整前四半期純利益	782	564
少数株主利益	2	—
四半期純利益	780	564

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	782	564
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31	△36
繰延ヘッジ損益	△12	△41
為替換算調整勘定	0	△0
その他の包括利益合計	19	△77
四半期包括利益	801	486
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	799	486
少数株主に係る四半期包括利益	2	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	通販 アパレル 事業	通販 インナー 事業	通販 L F 事業	通販 H & B 事業	ソリュー ション 事業	金融事業	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	6,567	2,285	3,277	1,343	1,490	129	15,093	—	15,093
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	0	73	0	73	△73	—
計	6,567	2,285	3,277	1,343	1,563	129	15,166	△73	15,093
セグメント利益	547	230	401	48	111	109	1,449	△166	1,282

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去△131百万円及び投資不動産の内部取引利益△34百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	通販 アパレル 事業	通販 インナー 事業	通販 L F 事業	通販 H & B 事業	ソリュー ション 事業	金融事業	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	6,965	2,303	3,337	1,673	1,413	60	15,754	—	15,754
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	0	67	0	67	△67	—
計	6,965	2,303	3,337	1,674	1,481	60	15,822	△67	15,754
セグメント利益	658	131	206	23	62	9	1,093	△119	973

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去△83百万円及び投資不動産の内部取引利益△36百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

- (1) 当社グループでは、連結の範囲の変更を伴う関係会社の異動を含む組織変更が生じたため、前連結会計年度では「通販非アパレル事業」としていた報告セグメントを、当第1四半期連結会計期間より、「通販LF（ライフファッション）事業」及び「通販H&B（ヘルシー&ビューティー）事業」の2区分に変更いたしました。

なお、前連結会計年度の対応する四半期連結累計期間については、変更後の区分方法により作成した報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報を記載しております。

- (2) 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、この変更によるセグメント利益への影響は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。